

2021.11 版

大規模災害対策
マニュアル
(学生用)



岐阜大学
GIFU UNIVERSITY

大規模災害対策マニュアル目次

○ 災害に対する心構え	1
○ 地震発生後の行動フロー図	2
○ 安全確保行動マニュアル	
1 個人での行動	3
岐阜大学柳戸地区避難場所	4
2 ケース別の対応事例	
キャンパス内	5
エレベーター内（フロー図）	6
キャンパス以外	7
○ 安否確認・被害状況調査マニュアル	
1 安否確認	8
2 家族友人との安否確認方法	9
3 障がいのある学生への対応	10
4 休講・授業再開の連絡	10
○ 安否確認システムについて	
1 安否確認システムの運用について	11
2 安否確認システムが利用できない者に対する 安否の確認	12
○ 岐阜市 震度マップ、地震ハザードマップ	13

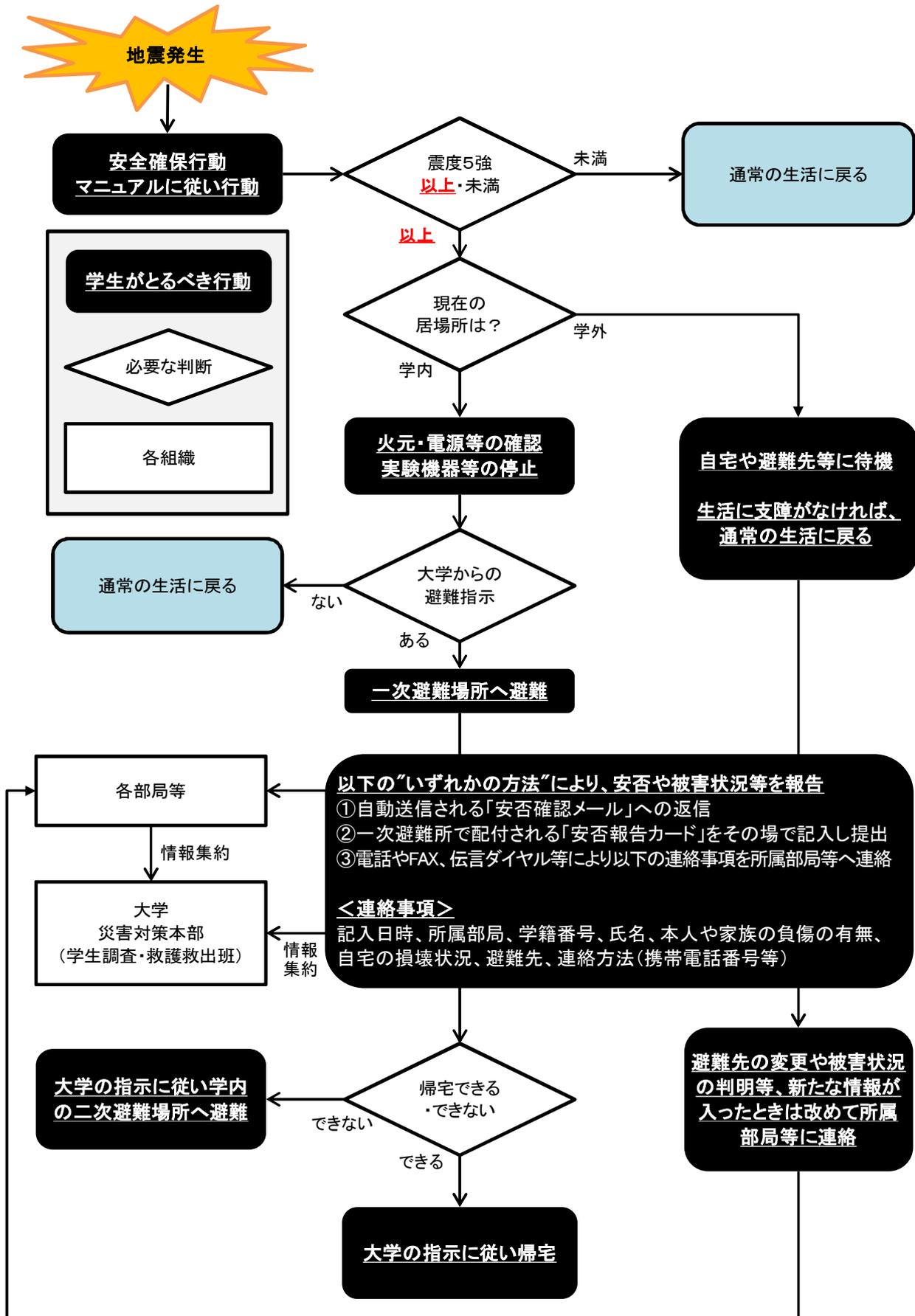


災害に対する心構え

- 日頃から、防災知識を身につける
- 日頃から、避難場所、避難経路を確認しておく
- 日頃から、情報連絡網を確認しておく
- 日頃から、帰宅困難に備えておく
- 日頃から、ハザードマップを知っておく
- 日頃から、応急手当の方法を覚えておく
- 防災訓練に必ず参加する



地震発生後の行動フロー図（学生）



安全確保行動マニュアル



1 個人での行動

地震直前

緊急地震速報が発出されたら、周りの人に知らせ、身を守る準備！
火を消す。安全な場所への避難、机の下等へ

地震発生

1. まず、身を守る！

姿勢を低くし、頭を守り、動かない（シェイクアウト）
書棚・キャビネットから離れる、机の下へ



2. すばやく火の始末！

ガスの元栓、コンセント、実験器具

3. 非常脱出口の確保！

ドア付近にいる者は余裕があればドアを開ける

※ケース別の対応事例→次項

揺れがおさまったら

1. 火元を確認！

火が出たら、落ち着いて初期消火

2. 同教室、同室員の安全を確認！

倒れた書庫等の下敷きになっている人がいないか確認し、救出活動にあたる（救助又は応援要請）。

3. 作業中の実験器具等の停止！

4. 隣接する部屋で助け合う！

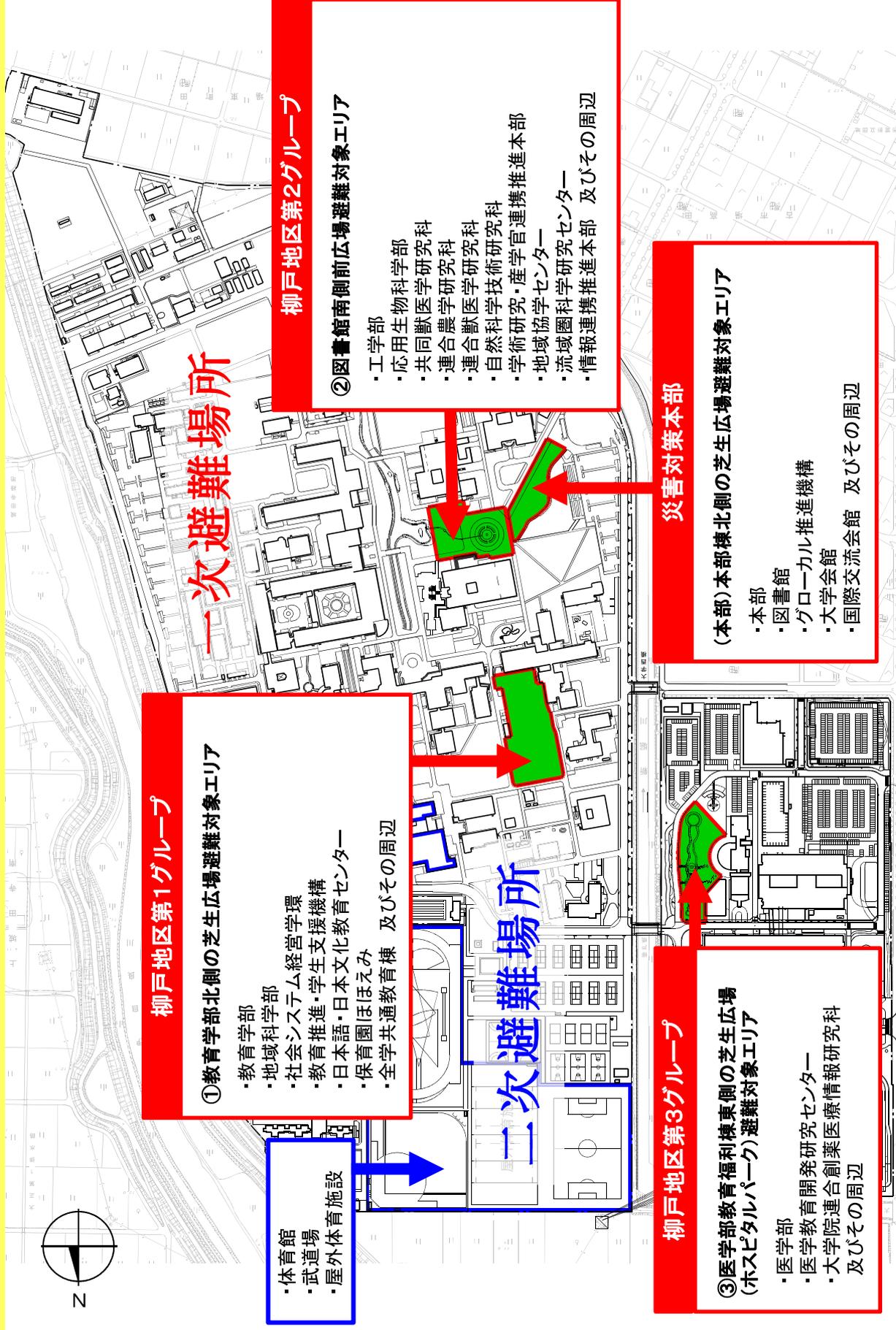
他の部屋・教室などで倒れた書庫等の下敷きになっている人がいないか確認し、救出活動にあたる（救助又は応援要請）。

5. 余震に注意！

建物の状況により、余震で倒壊する恐れがないと判断されるまで、ひとまず建物外に待避するため、最寄りの一次避難場所（次頁別紙）に移動

その後、大学の指示により、二次避難場所（体育館、武道場、屋外体育施設）（次頁別紙）へ避難

大規模災害に備えて！



揺れが収まったら最寄りの一次避難場所にただちに移動！

2 ケース別の対応事例

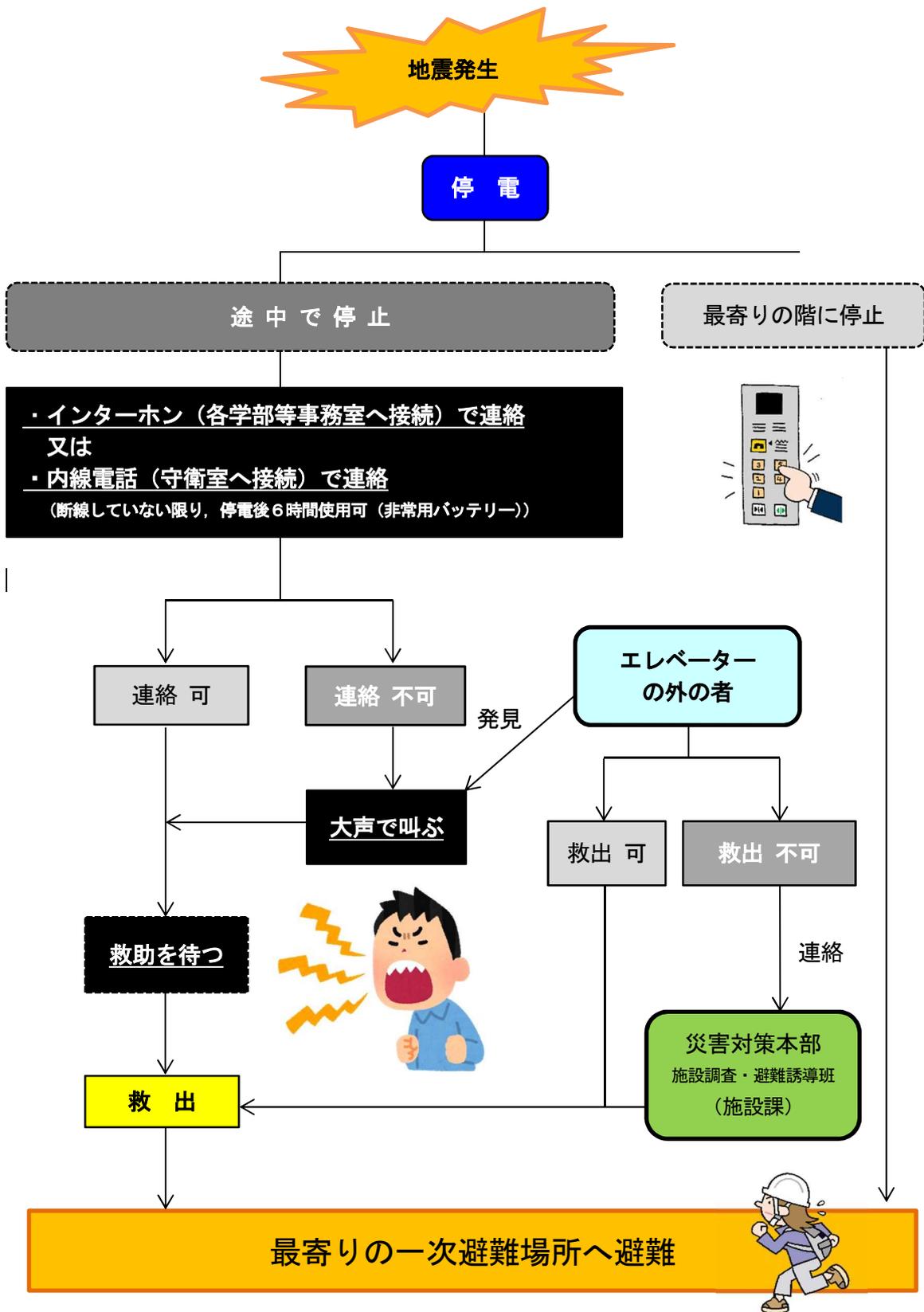


キャンパス内

<p>《 授業中 》</p> <ol style="list-style-type: none">(1) 揺れを感じたら、机や実験台の下に隠れ、カバンや上着等で頭を保護する。(2) 揺れが収まったら最寄りの一次避難場所に移動する。
<p>《 講義室・講堂で講演を聴いているとき 》</p> <ol style="list-style-type: none">(1) 揺れを感じたら、まずは椅子の間にしゃがみ、カバンや上着等で頭を保護する。(2) 揺れが収まったら最寄りの一次避難場所に移動する。
<p>《 実験中 》</p> <ol style="list-style-type: none">(1) 揺れを感じたら、まずは身の安全を確保できる場所に移動する。(2) 揺れが収まったら、実験を中止し、火の始末をして、最寄りの一次避難場所に移動する。
<p>《 学内移動中 》</p> <ol style="list-style-type: none">(1) 揺れを感じたら、ガラスの落下等、今いる場所の上下左右に注意し、最も安全と判断できる場所で、身の安全を確保する。(2) 揺れが収まったら最寄りの一次避難場所に移動する。
<p>《 エレベーター内 》</p> <ol style="list-style-type: none">(1) 最寄りの階に停止し、扉が開いたら階段を利用して避難する（身の安全を確保する）。(2) 途中停止し、中に閉じ込められた場合は、インターホン（各学部等事務室へ接続）・内線電話（守衛室へ接続）にて連絡を取り外部からの救出を待つ（エレベーター内のインターホン・内線電話は、断線していない限り停電後6時間使用できる（非常用バッテリー搭載））。 インターホン・内線電話により連絡ができない場合は、エレベーター内で大声をあげて救助を求める。(3) エレベーター内に閉じ込められた者がいた場合は施設調査班へ連絡する。(4) エレベーターから出た後は、最寄りの一次避難場所に移動する。
<p>《 学生寮内 》</p> <ol style="list-style-type: none">(1) 基本的には、教室等にいるときと同様に、あわてて外へ飛び出さず、机の下等に身をかくし揺れがおさまるのを待つ。(2) 揺れが収まったら最寄りの一次避難場所に移動する。



エレベーター内（フロー図）



キャンパス以外

1 乗り物に乗っているとき

- ・ 急停車に備え、つり革・手すりなどにすぐつかまる。
- ・ 停車しても、勝手に非常コックを使って車外へ出たり、窓から飛び出したりせず、乗務員の指示を待つ。
- ・ 特に地下鉄などは、線路横に高圧電流が流れており極めて危険。

2 地下にいるとき

- ・ あわてて出入り口に殺到せず、いったん壁や太い柱に身を寄せ、係員の指示に従う。
- ・ 停電になっても非常用照明灯がすぐつくので、落ち着いて行動する。
- ・ 出火がある場合は、近くの消火器ですばやく消火する。
- ・ 地下での火災は煙や有毒ガスが充満しやすく危険である。ハンカチなどで鼻と口を覆い、体をかがめて這うように壁伝いに煙の流れる方向へ避難する。



3 路上にいるとき

- ・ その場に立ち止まらず、衣服や持ち物などで頭を覆いながら近くの空地、公園や頑丈そうなビルの中へ避難し、落下物からの危険を回避する。
- ・ ブロック塀や自動販売機など設置物のそば、ビルの壁際などへは近づかない。
- ・ 垂れ下がった電線には近づかない
- ・ 崖や川べりは、地盤が緩み崩れやすくなっている場合があるので近づかない。
- ・ 地面の亀裂、陥没や電柱、塀等の転倒に注意する。



4 自宅等にいるとき

- ・ 基本的には、教室等にいるときと同様に、あわてて外へ飛び出さず、机の下等に身をかくし揺れがおさまるのを待つ。
- ・ 足元の散乱物や落下物に注意して避難などの対応を行う。

安否確認・被害状況調査マニュアル

学生安否確認マニュアル

1 安否確認・被災状況調査

震度5強以上の地震発生と同時に、【安否確認】メールが一斉に自動送信されるので、安否や被害状況などの情報を返信する。

メールを受信できない状況にある場合は、次の方法で連絡する。

①地震発生時に大学にいるとき

避難場所において【安否報告カード】を受け取り、その場で記入し提出する。

②地震発生時に大学にいないとき

FAX、電話、NTT 災害伝言ダイヤル等により所属学部・研究科の事務室に連絡する。

【安否報告カード（学生用）】

安否報告カード	
記入日時	月 日 時 分
所属	教育・地域・医学・工学・応生・学環・その他
学籍番号	
氏名	
負傷の有無	無 有 ()
連絡方法 (携帯電話番号等)	
自宅に帰宅できるか、 避難先に行くか等	自宅 避難先() その他()
安否確認システムでの 返信を行ったか	はい ・ いいえ

【大学への連絡用メールの内容】

メールアドレス：anpi@gifu-u.ac.jp

(報告事項例)

報告事項	
報告日	
所属	
学籍番号	
氏名	
本人や家族の 負傷の有無	
自宅の損壊状況	
避難先	
連絡方法 (携帯電話番号等)	

【大学への電話等連絡先】

FAX 又は電話で連絡する場合も同様に前ページの内容を報告する。

<連絡先一覧表>

部 局	FAX	TEL
教育学部・教育学研究科	058-293-2207	058-293-2206
地域科学部・地域科学研究科	058-293-3008	058-293-3009
医学部・医学系研究科(看護以外)	058-230-6074	058-230-6075
医学部・医学系研究科(看護)	058-293-3219	058-293-3217
工学部・工学研究科	058-293-2379	058-293-2377
応用生物科学部	058-293-2841	058-293-2838
社会システム経営学環	058-293-3441	058-293-3440
自然科学技術研究科	058-293-2379	058-293-2377
共同獣医学研究科	058-293-2992	058-293-2988
連合農学研究科	058-293-2992	058-293-2984
連合獣医学研究科	058-293-2992	058-293-2987
連合創薬医療情報研究科	058-293-3273	058-293-7602
グローバル推進機構	058-293-2143	058-293-2137
学務部教務課	058-293-3382	058-293-2133

【NTT 災害用伝言ダイヤル「171」】

メッセージ録音 「171」+「1」+「※上記の部局の TEL 番号」

※伝言録音時間 30 秒

2 家族・友人との安否確認方法

家族・友人と互いに安否を確認しあう場合は、NTT 災害用伝言ダイヤル、携帯電話による情報登録検索、インターネットによる情報登録検索等を利用する。

日頃から、震災時にどのような連絡体制をするのかを決め、周囲に連絡しておく。

(1) NTT 災害用伝言ダイヤル (171) による情報登録

メッセージ録音 「171」+「1」+「自分の電話番号」

メッセージ確認 「171」+「2」+「確認したい者の電話番号」

※伝言録音時間 30 秒

※日頃から、災害用伝言ダイヤル「171」の利用方法を理解しておくこと

なお、災害時には、音声がつながりにくい等の障壁があるため、災害用伝言板 (web171) 等の利用も心がける。

○ 災害用伝言ダイヤル (171)

NTT 東日本・NTT 西日本が災害発生時に臨時開設する緊急時の伝言サービス。災害発生直後に、被災地への安否を気遣う連絡が急増して通信しにくくなることへの対処として設けられる。被災者の家の電話番号をキー（手がかり）にして、音声で伝言を登録したり確認したりすることができる。

○ 災害用伝言板 (web171)

大地震などの災害発生時に、NTT が提供する安否確認サービス。災害時専用の伝言板サイト (<https://www.web171.jp>) に、テキスト・音声・画像などで伝言情報を登録できる。登録された情報は、全国及び海外から閲覧できる。災害用ブロードバンド伝言板。

(2) 携帯電話による伝言の登録

- ① 携帯電話から災害用伝言板にアクセス。
- ② (災害時は各社の公式サイトトップ画面に災害用伝言板の案内が表示される。体験利用の際はメニューリスト内からアクセスすること。)
- ③ 「災害用伝言板」の中の「登録」を選択する。
(登録は被災地域内の携帯電話からのアクセスのみが可能。)
- ④ 現在の状態について「無事です。」等の選択肢から選び、任意で 100 文字以内のコメントを入力。(状態の複数選択や、コメントのみの利用も可能。)
- ⑤ 最後に「登録」を押して、伝言板への登録が完了。

(3) 携帯電話による伝言の確認方法

- ① 災害用伝言板にアクセス。
(伝言の確認は PC 等からも行うことが可能。)
 - NTT ドコモ <http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi>
 - KDDI (au) <http://dengon.ezweb.ne.jp/>
 - ソフトバンク、ワイモバイル <http://dengon.softbank.ne.jp/>
- ② 「災害用伝言板」の中の「確認」を選択。(確認は全国からのアクセスが可能。)
- ③ 安否を確認したい方の携帯電話番号を入力し「検索」を押す。
- ④ 伝言一覧が表示されるので、詳細を確認したい伝言を選択。

3 障がいのある学生への対応

障がいのある学生に対して、避難の際の配慮を十分に行うこと。

4 休講・授業再開の連絡

休講や授業再開のお知らせは、決定後速やかに、大学のホームページ、AIMS-Gifu、メディア（テレビ、ラジオ、新聞）又は NTT 災害伝言ダイヤル「171」により行う。

【NTT 災害用伝言ダイヤル「171」】

メッセージ再生 「171」+「2」+「058-293-1111」

※日頃から、災害伝言ダイヤル「171」の利用方法を理解しておくこと

安否確認システムについて

1. 安否確認システムの運用について

(1) 安否確認メールの配信手段

- ① 日本気象協会の気象情報と連動して自動配信される。
(管理者によりメールを配信する震度、震源地等が設定できる。)

安否確認メールの内容

◆タイトル：【岐阜大学】地震発生による安否確認を返信願います。

◆本文例：

皆さんの安否状況について、「当メールへの返信」または「WEB 回答 URL」からお知らせください。

- ・メールの転送先から回答の場合は、「WEB 回答 URL」から回答してください。
- ・メールでの返信の場合、件名は編集しないでください。

As an Emergency Drill,Gifu University is sending an emergency email message to all students through the registered email addresses.

Please respond by reply to this email or following URL,according to the chart below.

「当メールへの返信」

【回答方法】How to respond

返信メールの本文 1 行目に Q1、Q2 の回答（数字）を続けて入力ください。

負傷状況や居場所の詳細など、コメントを付ける場合は、Q1、Q2 の後に入力してください。

Reply the code(number) to indicate your safety status and location.

【回答例】Sample responses

- ・無事、学内にいる(Safe & On Campus)
---> 14
- ・重症、岐阜駅前で負傷 (Seriously injured & Other)
---> 36 岐阜駅前で足を負傷。

Q1:

- 1：無事(Safe)
- 2：軽傷(Slightly injured)
- 3：重傷(Seriously injured)

Q2:

- 4：学内(On Campus)
- 5：自宅(at home)
- 6：その他(Other)

今後は大規模災害対策マニュアルに則って行動してください。

十分に注意して行動願います。

Please act in accordance with the disaster prevention manual and stay on alert.

11 月 28 日 11 時 45 分発生

【震源地情報】

震源地 ○○○南部 深さ XXkm マグニチュード XX

【各地の震度】

- 震度 5 強

「リンク先ページ」

WEB 回答 URL(ケータイ用とスマホ用があります)

(ケータイの方はこちら)

<https://ems8.e-ansin.com/gf01/anpi-gidai/mobile/MobileWebAnswer.do?key=13qdfkjabsw0kpg9ik7esu1dn6ifzii>

(スマホの方はこちら)

<https://ems8.e-ansin.com/gf01/anpi-gidai/smart/SmartWebAnswer.do?key=13qdfkjabsw0kpg9ik7esu1dn6ifzii>

(2) 安否確認メールに対する返信方法

- ① 受信者は受信した安否確認メールの内容を確認し、自身の安否状況を返信メール又は「WEB 回答 URL」から回答する。
- ② 返信は、「14」（無事で学内にいる場合）、「25」（軽傷で自宅にいる場合）等、ワンタッチで入力できる2文字のみを回答する。

※携帯電話の迷惑メール受信拒否設定などがしてあると、安否確認メールが受信できないため、以下のメールアドレスを受信可能な状態にしておく必要がある。

anpi-gidai@ems8.e-ansin.com

2. 安否確認システムが利用できない者に対する安否の確認

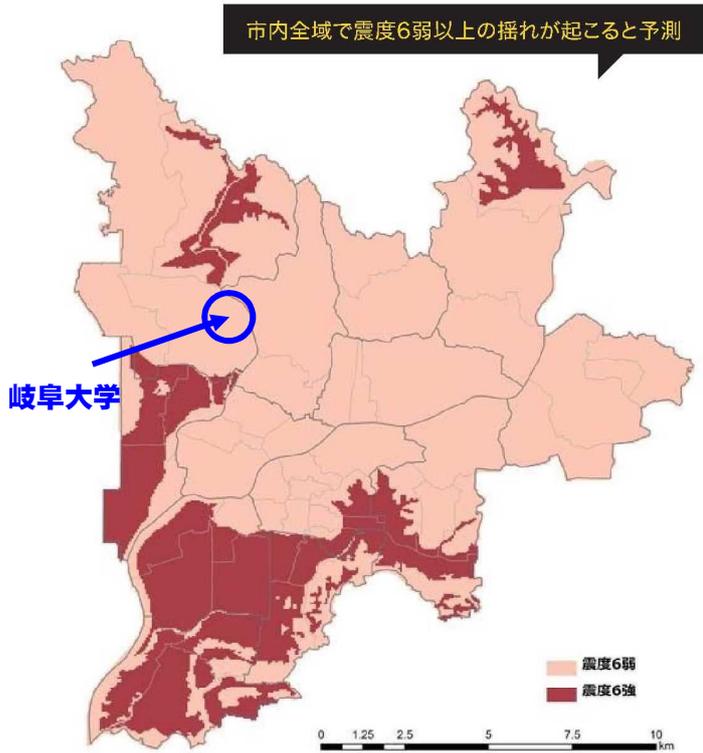
学内の避難場所に避難している場合は、「安否報告カード」により、安否を確認する。

それ以外の場合は、各部局が有する最新の学生情報により、携帯電話及び自宅（実家）等に電話連絡を行い、安否状況を確認する。本人と連絡が取れない場合は、本院と関わりのある者（友人、同じサークル活動のメンバー等）から情報を入手するよう努める。

南海トラフ巨大地震発生時に予測される被害

岐阜市では、南海トラフ巨大地震のうち、本市への影響が最も大きくなる宮崎県日向灘沖を震源とする地震を対象に、被害想定調査を実施しました。

震度分布図



人的・物的被害

建物被害	全壊	7,482棟
	半壊	21,029棟
	焼失棟数	106棟
人的被害	死者	257人
	負傷者	3,492人
避難者数		53,013人

被害が最大となる季節・発生時間の結果を抜粋(平成24年度調査)

ハザードマップ P42

震度6弱	震度6強
固定していない重い家具の多くが移動、転倒する。	立っていることができず、固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。

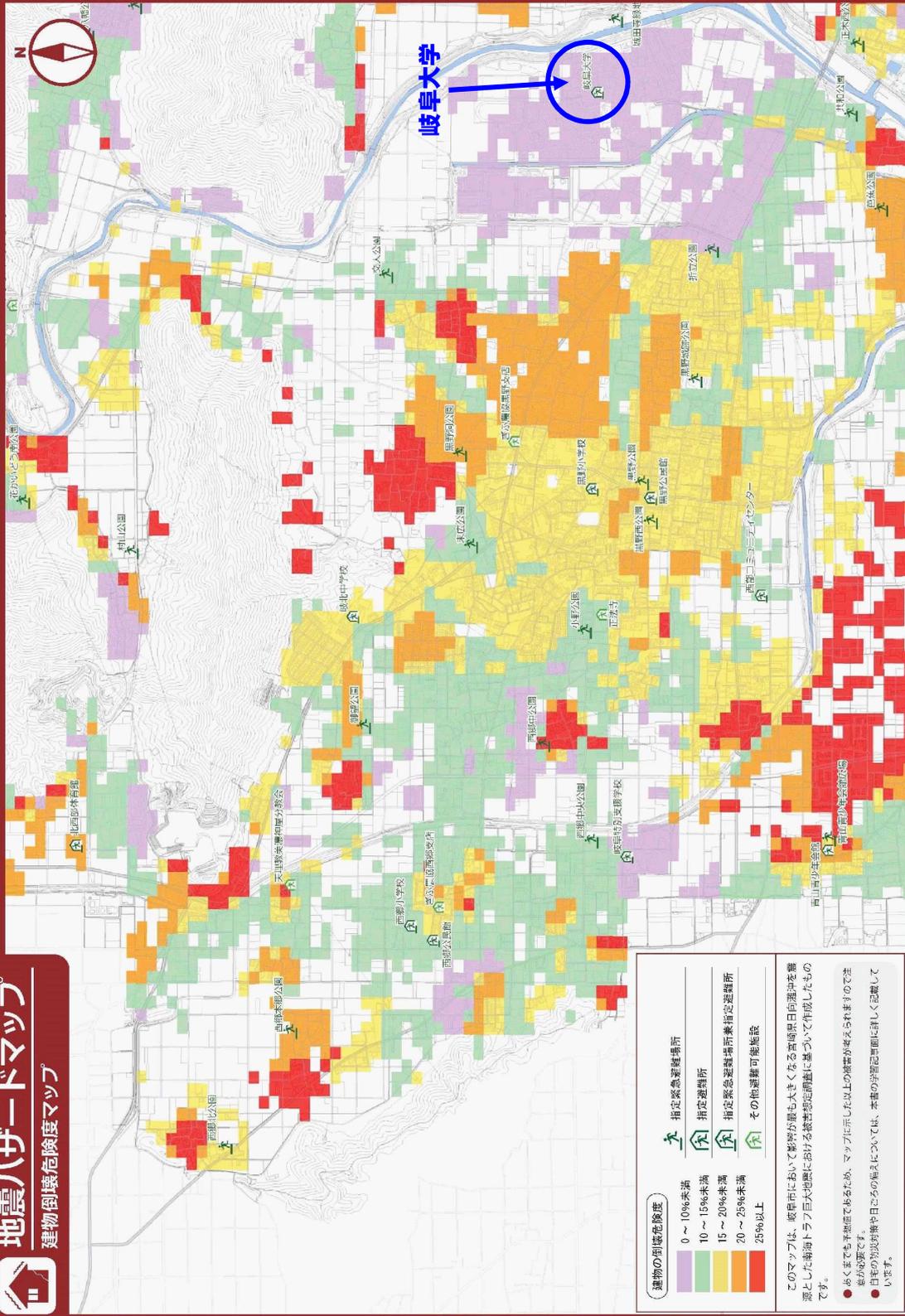


これらの被害は、みなさんが日ごろから家庭でできる地震対策をし、揺れがあった時に適切な行動をとることで減らすことができます。地震は突然起こるので、日常からの備えがどれだけできているかが大切です。日常の対策編に記載されている家の耐震化や家具固定、防災用具の備蓄に取り組むとともに、本章を参考に地震発生後に適切な行動をとりましょう。

出典：岐阜市 HP「岐阜市総合防災安心読本」

<https://www.city.gifu.lg.jp/kurashi/bousai/1001378/index.html>

地震ハザードマップ
建物倒壊危険度マップ



建物の倒壊危険度

- 0～10%未満
- 10～15%未満
- 15～20%未満
- 20～25%未満
- 25%以上

指定緊急避難場所
 指定避難所
 指定緊急避難場所兼指定避難所
 その他避難可能施設

このマップは、岐阜市において影響が最も大きくなる西濃県白土連沖を震源とした岐阜トランス巨大地震における被害想定調査に基づいて作成したものです。

- あくまでも目安であるため、マップに示した以上の被害が考えられますので注意が必要です。
- 自宅の周辺対策や日々の備えについては、本市の学習認定書面に詳しく記載されています。